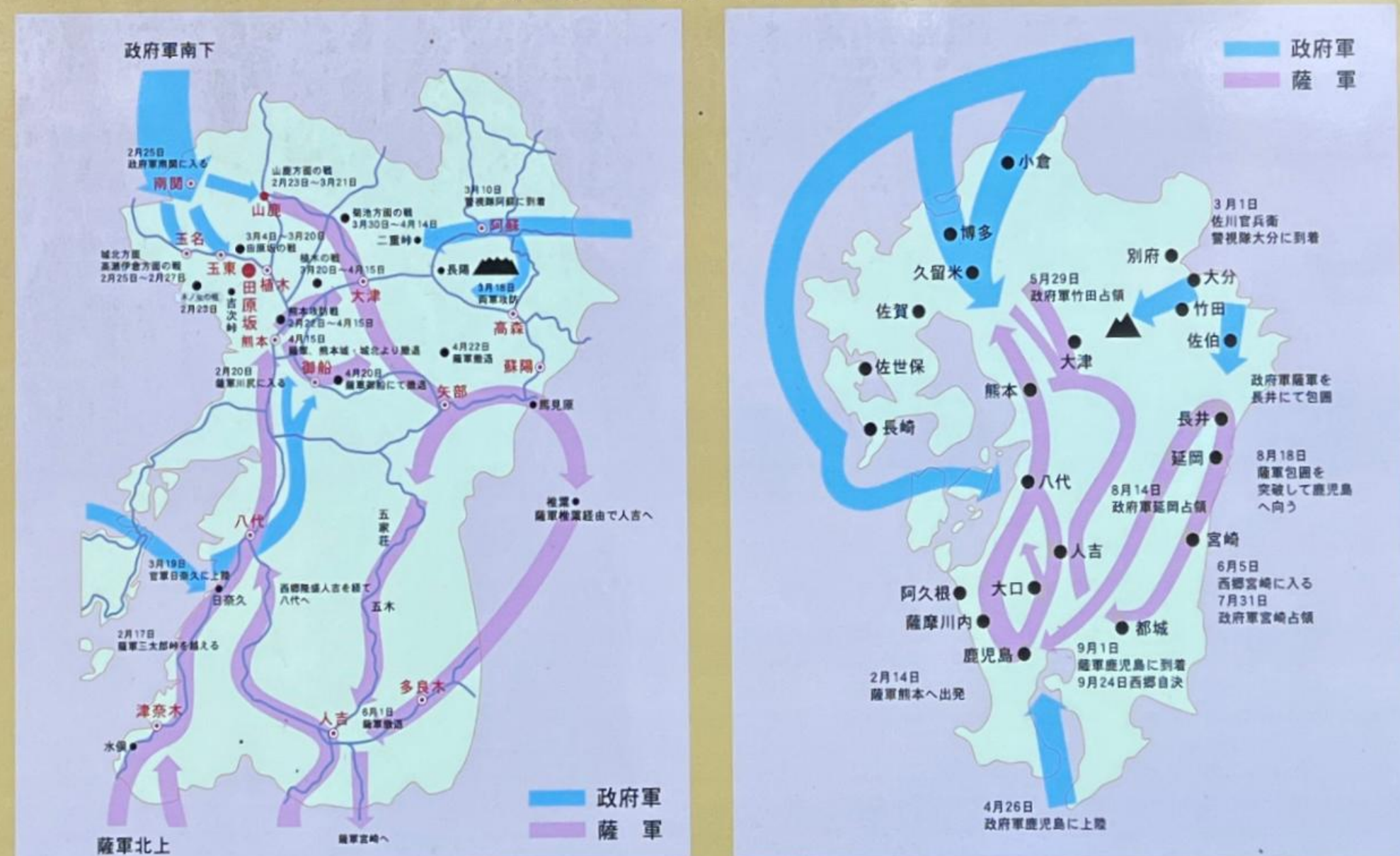


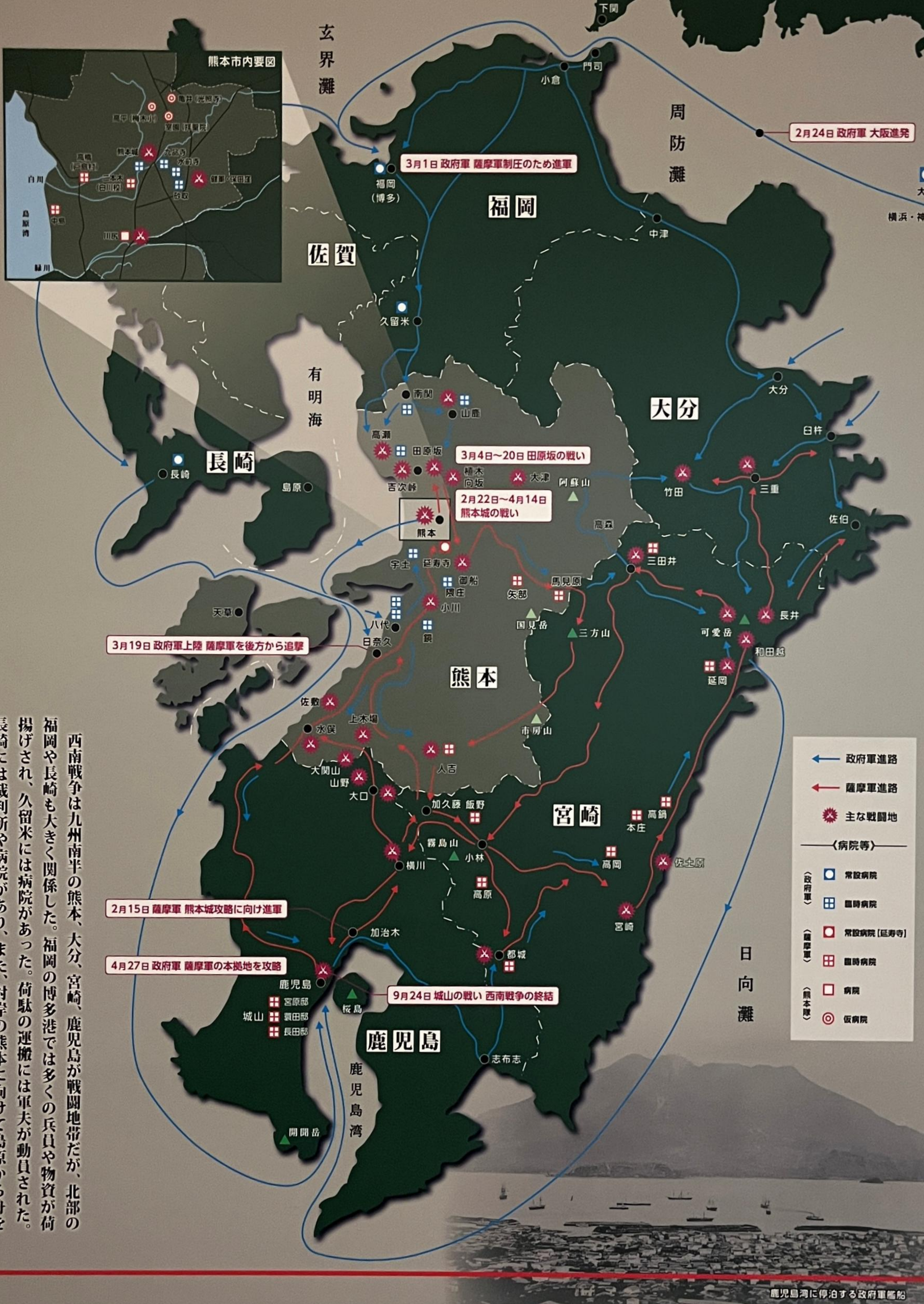
西南の役年表

明治6・10・23	西郷征韓論に敗れ、辞表提出 (桐野、篠原ら西郷派士官総辞職)
7・6	鹿児島私学校設立
9・10・24	神風連の乱
10・1・29	私学校党、鹿児島で暴挙
2・17	西郷、桐野、村田ら鹿児島発す(兵一万三千)
19	熊本城炎上
	鹿児島暴徒征討令下る
22	薩軍、熊本城総攻撃・植木向坂緒戦
23	木ノ葉の戦・薩軍、熊本城総攻撃
24	薩軍、熊本城強行を中止し、主力は山鹿、田原、木留に進出
25	第1、2旅団南関に入る。高瀬奪回戦
26	高瀬大会戦
27	伊倉寺田の戦
3・3	田原坂の戦
20	薩軍、熊本城を水攻めにする
4・1	官軍、吉次、木留を占領
12	官軍、御船を占領
14	別働第2旅団の山川浩中佐、熊本城連絡に成功
15	官軍別働隊、全部熊本城入る
	薩軍城北戦線より撤退、熊本城の包囲を解き↓城東へ
20	両軍、大津、保田窪、健軍、御船で撃突
	官軍、御船で大勝、薩軍矢部に撤退
	薩軍、兵を再編成(奇兵隊、正義隊、雷撃隊)
	西郷ら人吉へ撤退
5・3	官軍、人吉攻撃を開始
6・1	官軍、人吉を占領
25	薩軍、佐土原で西郷札を発行
7・31	官軍、宮崎、佐土原を占領
8・14	官軍、延岡を占領
15	薩軍党薩諸隊、長井村にて降伏
9・1	西郷ら鹿児島へ入る
24	官軍総攻撃、西郷ら諸將城山にて戦死、西南戦争終る

西南の役 激戦の軌跡(大略)



九州全域を巻き込んだ西南戦争



主な戦闘経過

- 2月に鹿児島を脱した薩摩軍は一路北上し、3月の田原坂の戦い後、4月に熊本城の包囲を解き、東から南へと進み、6月の人吉陥落後は宮崎方面に向かった。その後、北上して延岡、8月の和田越の戦い後に薩摩軍解隊布告を出して一区切りがついた。西郷たちは可愛岳を突破し、南下して郷里の鹿児島へ向かい、9月24日、ついにその時を迎えた。
- 2月14日 薩摩軍、別府晋介率いる先発隊が鹿児島を脱す
- 2月19日 鹿児島暴徒征討令
熊本城炎上、21日まで市街延焼
- 2月20日 薩摩軍の先鋒、川尻に入る
- 2月22日 神戸からの政府軍旅団博多上陸
先発隊を追って南下
- 2月22日 薩摩軍、熊本城総攻撃
～23日 <熊本城籠城戦開始>
<向坂の戦い>
- 2月24日 薩摩軍、熊本城強攻を中止し主力を山鹿、田原坂、木留に進出
- 2月25日 政府軍第1、2旅団南関に入る
- 2月25日～27日 <高瀬の戦い>
- 2月26日～3月21日 <山鹿口の戦い>
- 3月3日～4月1日 <吉次峠の戦い>
- 3月4日～20日 <田原坂の戦い>
- 3月19日 政府軍別働第2旅団、日奈久に上陸
<政府軍の挟撃作戦>
- 3月26日～4月15日 薩摩軍、熊本城を水攻め
- 4月6日～15日 <狭迫の戦い>
- 4月12日～20日 <御船の戦い>
- 4月12日～14日 <川尻攻略戦>
- 4月14日 薩摩軍、熊本城包囲を解く
政府軍、熊本城入城
<熊本城攻防戦終了>
- 4月20日 <健軍・保田窪の戦い>
<大津の戦い>
政府軍、御船で大勝 薩摩軍、矢部に退去し西郷らは人吉へ退去
- 4月27日 政府軍別働旅団の2大隊、熊本の百貫石と松合を出港して鹿児島に上陸し占拠
- 5月5日～6月25日 <鹿児島攻防戦>
- 5月13日 政府軍、豊後方面に海路・陸路から部隊を派遣 竹田を占領していた薩摩軍を敗走させる
- 5月19日 <竹田の戦い>
- 5月25日 政府軍、人吉に籠る薩摩軍に攻撃開始
- 5月28日 西郷、宮崎へ入る
- 5月31日 <三田井の戦い>
- 6月1日 政府軍、人吉を占領
- 6月17日 政府軍、熊本・宮崎県境一帯を占拠
薩摩軍は宮崎方面へ向かう
- 7月24日 <都城の戦い>
- 7月31日 <宮崎の戦い>
- 8月1日～2日 <高鍋の戦い>
- 8月15日 <和田越の戦い>
- 8月16日 薩摩軍、解隊布告
- 8月18日 薩摩軍、可愛岳突破、その後三田井を経て山中行軍し鹿児島へ向かう
- 9月1日 西郷ら鹿児島に入る
<城山の戦い>
薩摩軍、鹿児島城山に籠る
- 9月24日 政府軍、城山を総攻撃
西郷自刃、桐野、村田ら戦死 城山陥落
<西南戦争終結>

西南戦争は九州南半の熊本、大分、宮崎、鹿児島が戦場地帯だが、北部の福岡や長崎も大きく関係した。福岡の博多港では多くの兵員や物資が荷揚げされ、久留米には病院があった。荷駄の運搬には軍夫が動員された。長崎には裁判所や病院があり、また、対岸の熊本に向けて島原から舟をこぎ出し、草鞋などを売り歩いた人もいたとの話も伝わる。

鹿児島湾に停泊する政府軍艦船